

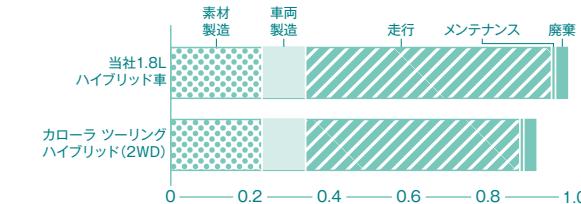
TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。

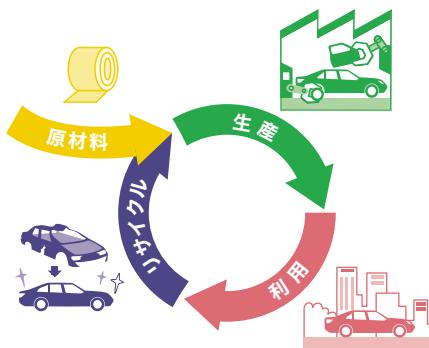
LCA実施結果 CO₂二酸化炭素 (Carbon Dioxide)



トヨタでは、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階を、クルマが環境に与える要因を量的に総合評価する手法「LCA(ライフサイクルアセスメント):Life Cycle Assessment」で評価し、自動車の生産走行距離10万km(10年)で計算した場合の結果を指数で示しています。
トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフライランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタ カローラ ツーリング 環境仕様

車両型式	6AA-ZWE219W			6AA-ZWE215W			5BA-MZE17W				
	車両重量	kg	1,350	1,370	1,390	1,400	1,420	1,440	1,260	1,280	1,300
CO ₂ 排出量*1 (WLTC) 認定レベルまたは適合規制 (国土交通省)	g/km	79	85	84	93	122	130				
排出ガス 認定レベル値または適合規制値 CO/NMHC/NOx/PM g/km		平成30年基準排出ガス75%低減レベル*2			平成30年基準排出ガス50%低減レベル*2						
車外騒音 規制区分 加速(規制値)/定常/近接	dB	70/-/68	70/-/69	70/-/77							
冷媒の種類(GWP値*3)/使用量	g	HFO-1234yf(1*4)/470			HFO-1234yf(1*4)/450						
環境負荷物質削減 カドミウム/六価クロム	鉛/水銀	自工会2006年自主目標達成(1996年比10以下*5)/自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)			自工会2007年目標達成(2007年1月以降使用禁止)/自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)						
車室内VOC*7	鉛	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)			自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)						
環境負荷物質使用状況等	水銀	電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子(PZTセンサー)等に使用/鉛廃止済み部品: 電着塗料、燃料ホース、パワステ高压ホース、ホイールランナー、電球と点火プラグ、塩ビゴム部品、バルブシート、軸受けなど			水銀廃止済み部品: コンピュータショーメーター						
	六価クロム	六価クロムの使用無し/六価クロム廃止済み部品: 金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他			カドミウムの使用無し/カドミウム廃止済み部品: 電気・電子部品のCチップ基板、厚膜ペースト他						
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品 樹脂、ゴム部品への材料表示 リサイクル材の使用	バンパーカバー・インストルメントパネル・その他内装材 あり			ダッシュサイレンサー等						

*1. 燃料消費率は「主要諸元表」をご覧ください。

*2. WLTCモード走行

*3. GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)

*4. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。

*5. 1996年乗用車の業界平均1,850 g(リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)。

*6. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピュータショーメーター、ディスチャージヘッドライト、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)。

*7. VOC:Volatile Organic Compounds

自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

リサイクル料金表(全車)

※リサイクル料金は'24年4月時点の金額。

リサイクル預託金				合計
リサイクル料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金	
8,880円	2,800円	—	130円	290円
				12,100円

■リサイクル預託金が預託済の車を商品車として譲渡する旧所有者(譲渡人)は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者(譲受人)からお受け取りにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくは、取扱い販売店におたずねください。



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまで広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。

<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>